



国賠同盟本部の仲間は、中央本部とともに憲法大集会で、国賠同盟ブースでの活動紹介と会場周辺では国会請願署名を呼びかけ、266筆が寄せられました。(5月3日 東京・有明防災公園)

軍拡ではなく、対話に徹した平和外交を

副会長 井藤 英治

いま円安が止まらない。一ドル200円に向かっていくと将来予想する金融関係者もいる。これは冷静に見ればアベノミクスの負の遺産が表れている。いくら日銀・政府が何兆円も投入して市場介入しようが、日本経済の実質的な改善にはならない。逆に金融市場に油を注ぐようなもので、ギャンブラーが大もうけをすることになる。大損をしているのは日銀・政府でその付けが日本国民に回ってくる。しかし今、円安・株高同時進行で、海外からの観光旅行客が大幅に増えている。コロナ前の2019年が最高で3188万人。昨年は2506万人、今年の1月268万人、2月278万人、このペースで行くと2019年度を上回る3300万人が訪れることになる。また、外国人労働者も初の200万人超で過去最多を記録すると厚労省が発表している。

なぜ外国人が日本に来るのか? それは世界が称賛する「平和憲法」があるから。憲法の前文で「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有する」ことをうたい、

それは世界が称賛する「平和憲法」があるから。憲法の前文で「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有する」ことをうたい、

アメリカ追従の戦争する国づくりに奔走するのではなく、今こそ日本政府は、平和外交のために対話に徹し、世界から戦争も紛争もない平和構築の道を開く役割を国際社会で果たすべきです。

憲法9条で「戦争を放棄」していることを海外の旅行者はよく知っているからこそ、安心して日本に來ているのです。

しかし、バイデン米大統領は4月10日「国賓待遇」で岸田首相を迎え、日米首脳会談では、(1)軍事費の2倍化、(2)敵基地攻撃能力の導入、(3)殺傷兵器の輸出解禁—など岸田政権の大軍拡路線を「歓迎」。

その上で、(1)米軍・自衛隊の「指揮統制の枠組み向上」(2)司令部の連携強化、(3)ミサイルの共同生産・輸出の拡大、日米軍需産業の連携、(4)米英豪の軍事的枠組みAUKUS(オーカス)などとの連携強化、(4)拡大抑止(核の傘)のさらなる強化—などを合意した。「平和憲法」を投げ捨て、「日米軍事同盟の歴史的変質を宣言」するものとなった。

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、治安維持法体制の復活に反対する。

二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する悪法であると認めること。

三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。



東京都本部
「不屈」No.599付録
東京版No.500

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034

東京都文京区湯島2-7-8

労音お茶の水ビル1F

電話 03(6240)0283

FAX 03(6240)0284

振替 00100-5-99628

E-Mail tokyo-chian@

bz04.plala.or.jp

「国会議願」(5月15日) 成功、全国・都大会成功

会員拡大特別期間(5~7月)の目標達成を

第9回理事会 4月25日

自民党は、企業団体献金で作った裏金で国民の80%から見放されている。岸田内閣は4月28日投票の衆議院3補選で全敗。江東区は、市民と野党候補が圧勝。市民と野党の共闘が自民党腐敗政治を変える力であることが再確認されました。

自民党政治を変えて、憲法に基づく民主政治実現への展望をひらきました。また私たち同盟の要求実現の道です。来るべき都知事選挙、総選挙勝利めざし全力を挙げよう。

◆第41回全国大会

6月19・20日

全労連会館

◆第47回都本部大会

7月27日

文京シビックセンター

4F区民会議室



市民と野党の共闘 東京15区

成することを決めました。

会員拡大

2025年の治安維持法施行100年を見据えた都本部15000人に見合った支部計画を作る。

女性部活動

「春を呼ぶ集い」を成功させた力で、全国女性交流会に向けて、全支部から代表を送る準備を始めましょう。

支部建設

新支部結成と「支部活動の手引き」にもとづく現支部の体制、活動強化について討議し、支部活動計画を作しましょう。また、空白の6区、三多

2024年度は会費納入に年度はじめから取り組み、

全支部完納を達成しましょう 会員のみなさん、会費納入にご協力ください

2023年度の会費は、3月31日 ました。

現在80%、募金は115%の到達。

23年度会費残を早期に克服し、24年度会費の請求を5月中に必ず出し

摩7地区で上映し、全都の空白を埋めるため、支部で本格的に取り組みを始めましょう。

治安維持法100周年への取り組み

記念集会(案)

◆会場

文京区シビック小ホール

◆内容 2025年4月

午前映画上映、午後記念集会

都本部の活動日誌

- 4月6日 杉浦正男さん墓参
- 4月8日 三役会議
- 4月9日 決算整理
- 4月12日 多喜二祭実行委員会
- 4月13日 平和パーク交流会
- 4月16日 9・1追悼打ち合わせ
- 4月18日 栃木県本部訪問
- 4月23日 決算整理
- 4月23日 鶴彬顕彰会
- 4月20日 東京母親大会実行員会
- 4月24日 全国常任理事会
- 4月25日 第9回理事会
- 4月27日 東京民医連70周年式典

三役会議

5月13日(月) 13時半

会場 都本部ビル2階

理事会

5月24日(金) 13時半

会場 文京区男女平等センター

幾山河

ザ・ポストマン・フロム・ナガサキ(長崎の郵便配達)という映画を見た。この映画のもともになった本の著者を紹介しよう。「ローマの休日」のモチーフとなったと言われるピーター・タウンゼントは戦時中英空軍のパイロットとして英雄になり、退任後はイギリス王室に仕え、エリザベス女王の妹マーガレット王女と恋に落ち結婚の約束をするが、周囲の反対で破局。この世紀の恋愛は世界の話題となった。彼はその後、ジャーナリストとして世界をめぐり、日本の長崎で谷口さんと出会い、取材して84年小説「長崎の郵便配達」を出版した。映画はタウンゼントさんの娘イザベルさんが父の手記をたどって、家族とともに長崎を訪ねる所から始まります。谷口さんは前年に亡くなっていたが、生前、郵便配達員として、又核廃絶の運動に生涯を尽くした思いを掘り起こし、足跡をたどるドキュメンタリーになっています。▼被爆した赤い背中をさらして核廃絶の運動に生涯をかけた谷口さんは、16歳の夏、郵便配達の途中で被爆。背中に大やけどを負い生き長らえて生涯を核廃絶を世界に訴え続けていたところにタウンゼントさんの取材を受けたのです。▼郵便配達の彼が歩いたであろう階段のしかもくねくねした坂道を、のぼりつめ、港が見える丘で「核兵器廃絶」、平和の願いを誰かに配達してほしいとメッセージが流れます。見終えて深く感動が残りました。

各支部・会員から

『戦死者からのメッセージ』展

練馬支部 中村茂樹
4月22～26日にかけて、鉄の造形作家、武田美通さんの『戦死者からのメッセージ』全作品展を練馬区のココネリホールで開催しました。

「ねりま九条の会」と国賠同盟練馬支部も参加した「作品展実行委員会」が主催です。開催期間中には、ギャラリートーク

4月22日(月)15時～16時 上村英明さん(恵泉女学園大学名誉教授)
土屋昌子さん(同大学・花と平和のミュージアム)
4月22日(月)17時～18時 永田浩三さん(武蔵大学教授)
4月23日(火)14時～15時 杉田明宏さん(大東文化大学教授)
4月24日(水)14時～15時 山田 朗さん(明治大学教授)
4月25日(木)13時～14時 黒井秋夫さん(PTSDの日本兵家族会・寄り添う市民の会代表)
4月25日(木)15時～16時 河合節子さん(全国空襲被害者連絡協議会事務局次長)

ギャラリートーク

4月22日(月)15時～16時 上村英明さん(恵泉女学園大学名誉教授)
土屋昌子さん(同大学・花と平和のミュージアム)
4月22日(月)17時～18時 永田浩三さん(武蔵大学教授)
4月23日(火)14時～15時 杉田明宏さん(大東文化大学教授)
4月24日(水)14時～15時 山田 朗さん(明治大学教授)
4月25日(木)13時～14時 黒井秋夫さん(PTSDの日本兵家族会・寄り添う市民の会代表)
4月25日(木)15時～16時 河合節子さん(全国空襲被害者連絡協議会事務局次長)

杉浦正男さんのお墓参り

港支部 小河源洋子

4月6日(土)、杉浦正男さんのお墓参りに行きました。12時に京成高砂駅に集合。中嶋都本部事務局長、港支部の菊池さん、小河源。今回は人数少なく3人かなと思っていたら、葛飾支部の新井さんが参加してくれました。「どこでお知りになりましたか?」と尋ねると「不屈に載っていた葛飾なので参加しました」と、うれしい返事でした。「不屈」の威力は「不屈」と思いました。

昨年歩いた道をうろ覚えでしたが、なんとか宗念寺にたどり着きました。さあ、今度はお墓を捜すのが一苦労。なにしろ「杉浦姓」が多いお寺なのです。昨年の記憶をたどってこの辺だろうと捜し、見つかりました。

お参りを済ませてお寺を出たところで葛飾支部の宮久保さんが自転車にかけつけてくれました。宮久保さんは印刷出版OB友の会の仲間でもあり、この日は毎年行っている「物故者追悼集会」の日でもあり、私は午前中そちらに参加してお焼香をす



左から小河源支部長、新井さん、菊池さん

した。駅にもどり少し遅い昼ごはん交流会をして帰りました。杉浦さんのお墓参りの縁で葛飾支部の新井さんと知り合えて良かったです。ありがとうございました。

国会請願署名を一筆でも多く

第95回メーデー中央会場で

5月1日、第95回メーデーが代々木公園で開かれました。都本部理事会は、会場の入場門前で、5月15日の国会請願を前に恒例の署名行動を実施しました。

中央メーデー開会の10時には雨が降り始め、署名行動は中止を余儀なくされ、約1時間で終えましました。吉田会長はじめ



ませて12時に高砂駅に行つたという次第でした。宮久保さんには「来れたら来て」と言っておいたので自転車であ

中央本部事務局からの3人を含め、11人が参加し、153筆、また三鷹メーデーには、八王子支部から2名が参加し、51筆を集めました。

平和と交流のテーマパーク

都知事選に勝利し

東京から平和の発信を

4月13日、ラパスホール(東京労働会館)で東京・平和と交流のテーマパークが開かれ、



「都知事選挙に勝利し、東京から平和を発信しよう」と国賠同盟都本部はじめ9つの民主団体、文化団体から50人が参加して交流しました。

当日は、吉田会長が「知事選挙に勝利して、平和・文化都市TOKYOをアピールしよう」と講演。都本部からは三役・理事が参加しました。

3月30日は義弟49日法要で金沢でした。翌31日に能登半島被災者共同支援センター（羽咋市）へ救援物資と義援金を届け、能登町の義兄姉たちを見舞ってきました。現地要需の米（無洗米2kg・200袋）と水2リットル・210本（総額約13万円）を私のものに寄せられた募金で購入。居住地の仲間から寄せられたキッチンペーパーや衛生用品、米と水、野菜、ジュース総重量460kgをワゴン車一杯に積み込み、募金の残りを義援金として、10万円を支援センター、10万円を石川県民医連に、私個人は石川県民医連職員被災者義援金で別途に届けました。半世紀前に世話になった徳島大学研究室教授夫人や徳島の親戚、自分には行けないからと多額を託してくれた仲間、燃料代や道中の弁当代にもらったものを含め総額33万円を超え、支援物資と義援金として届けてきました。ありがたうございました。



のと里山海道を通り、物資を支援センターでおろし、能登町に向かいました。羽咋からは工事区間が多く、迂回や凸凹あり、下りは一方通行で、速度も限られ、上りは海岸線の国道。金沢・珠洲間は往路3時間、復路4時間です。

羽咋から奥能登への支援物資の搬送は、日帰りでは行動範囲が限られ、能登町にも支援センター設置を検討中とのことでした。この日、珠洲市と輪島市で2組が支援行動。センターでは日本共産党いわき・双葉地区委員会の吉田さんが来訪者や電話の応対で奮闘。丁度、地震直後から介護施設支援に入り、今回3度目という女性が物資と義援金を松本市から届けに来ていました。

全体として復興どころか復旧すら、まだ見通しが立っていません。地盤が能登はやさしや土までも（3）

救援物資と義援金を能登へ

足立支部 濱谷正支

隆起したり、液状化した地域はなおさらです。元々21世紀中に一番早く限界集落になり消滅すると言われている高齢化・過疎化地域なので、国が正面から取り組まないと展望が見えません。被災地に被災者が住める、支援部隊が常駐できるようにすることを優先すべきです。

能登町宇出津の従兄姉家族は、いまだ水道も復旧せず、給水やお風呂は自衛隊頼みでしたが、何とか自宅に住んでいます。従兄の屋根はブルーシートがかかり、家屋被害調査の再審査結果

を待っていて、2階の手入れまでできていません。壊れたブロック塀を修復中でした。震災前に復旧させ、生活を取り戻すには相当の時間がかかると思われます。

住める家屋のある従兄姉たちは、まだしも、街並みがなくなつた珠洲市や輪島市、土地隆起と津波被害、地盤沈下で住めなくなつた地域の話を聞くのはとてもつらいものでした。寒ブリの宇出津港は、製氷工場と集荷場一帯が地割れや地盤沈下があり、魚市場はもろん機能は果たしていませんでした。生業である漁業や農業、畜産の再生は、土壌復旧や人手確保の目的が立たず、本当に不安だらけです。

帰り際に、小学校以来の友人宅に立ち寄り12年ぶりに話ができました。翌4月1日から長男が町役場で働き、教員の長女も離れていたパートナーと今年度から能登町で暮らすと聞いて、心が少しほぐれました。若い人たちはもちろん、能登で頑張る人たちを応援していきたい。今回、宇出津の滞在は3時間足らずでしたが、また機会あると訪れます。

引き続きの支援をお願いします。（4/28記）



川柳

植竹団扇 選

怖きもの地震カミナリフェイクニュース
訪米はもう卒業にしたいもの

新宿区 阿部俊雄
調布市 稲邑明也

独裁者悪の表情顔に出る
足立区 高橋陽子

あきらめない政治の夜明け目の前に
豊島区 藤本増美

裏金の企業献金ほうかぶり
中野区 中島育雄

メタンガス大阪維新命取り
練馬区 中村茂樹

歓迎され重い土産を持たされる
八王子 清水邦治

団扇

【読者のみなさんの投稿歓迎】

能登半島地震の被災者救援募金は

都本部まで